

Swift 6は、コンパイル時のデータ競合に対する安全策を提供し、より安全にコードを記述できるよう支援します。Swift Testingを利用すると、表現力に富む直感的なAPIによってコードのテストを作成できます。

データ競合に対する安全性をデフォルトで確保

Swift 6では、新しい言語モードでコンパイル時にデータ競合を診断できるため、並行プログラミングが大幅に容易になり、バグをより迅速に見つけて修正できるようになります。

Swift Testing

テストを簡単に記述できる表現力に富んだAPIを備えた、新しいフレームワークを提供します。同じテストを一連の値に対して繰り返し実行できるパラメータ化や、テストを柔軟に整理できるタグづけなどの機能を利用できます。

新しいオプトイン型の言語モード

Swift 6の言語モードはオプトイン型であるため、準備状況に従って一度に1モジュールずつコードを移行できます。また、パッケージの依存関係に関わらず移行できます。

あらゆる環境でSwiftを利用

- 言語サーバプロトコルを使用するテキストエディタのサポートが拡張されました。
- Linuxのサポート対象にDebianとFedoraが追加されました。

コミュニティリソース

- 新しいSwift 6移行ガイドなど、コミュニティが作成したガイドを swift.org (英語) でご確認ください。
- SwiftコンパイラやFoundationなどの重要なプロジェクトをホストする、Swiftに特化した新しいGitHubのグループ: github.com/swiftlang (英語) をご確認ください。

Swiftの利用をこれから始める方へ

developer.apple.com/jpでSwiftのPathwayを確認 >